

科目番号	FB201						
科目名	技術定着2						
担当教員	尾崎 真也		所属等	県立森林大学校森林教育専門員			
	岩成 麻子			県立森林大学校主任森林教育専門員			
	兼光 英喜			県立森林大学校森林教育専門員			
科目区分	実習・訓練			人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献
対象学年	2年			授業形態	実習		
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	1	
授業時間数	15 コマ			(30 単位時間)			
実務経験のある教員による授業科目			－	左の実務経験の内容		－	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無			－	左の実務経験の内容		－	
実務経験を活かした授業内容							

目的	1～2年次の実習科目で履修した施業技術等の定着を図る。						
概要	森林の造成保育伐出に関する技術、森林保護に関する技術、森林調査に関する技術の定着を図るための反復訓練を行う。						
キーワード	①森林の造成保育伐出技術 ②その他学科・実習における技術定着演習						
関連する科目	造林学実習、森林計測学実習、測量学実習、森林保護学実習、林業機械学実習、測量学実習、製図学						
到達目標	○	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得					
	－	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得					
	－	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得					
評価方法	出席時間数40%、履修態度20%、各課題の到達度40%						

授業計画	テーマ	講義内容
1	コンテナ苗植栽地の管理	河原山国有林下刈作業、シカ柵点検
2	コンテナ苗植栽地の管理	河原山国有林下刈作業、シカ柵点検
3	コンテナ苗植栽地の管理	河原山国有林下刈作業、シカ柵点検
4	コンテナ苗植栽地の管理	刈払い機整備実習
5	樹高測定	デジタルコンパスによる樹高測定
6	コンパス測量	コンパス測量とデジタルコンパス測量
7	コンパス測量	コンパス測量とデジタルコンパス測量
8	コンパス測量	ポケットコンパスとデジタルコンパスによるデータ比較
9	機械整備	チェーンソー目立て実習
10	機械整備	チェーンソー目立て実習
11	植栽地管理	一貫作業システム・低密度植栽
12	植栽地管理	一貫作業システム・低密度植栽
13	苗木成長量調査	ヒノキ苗木成長量調査
14	苗木成長量調査	ヒノキ苗木成長量調査
15	CAD	CAD操作復習

テキスト	講師作成資料
参考書	
関連する資格	
備考	

科目番号	F B 2 0 2						
科目名	体験研修 2						
担当教員	野谷 るり子			所属等	県立森林大学校		
科目区分	実習・訓練			人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献
対象学年	2年			授業形態	実習		
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	1	
授業時間数	15 コマ (30 単位時間)						
実務経験のある教員による授業科目	-			左の実務経験の内容	-		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	-			左の実務経験の内容	-		
実務経験を活かした授業内容							

目的	イベント出展等の企画立案及び運営への主体的参画により、プレゼンテーション及びコミュニケーション能力を向上させるとともに、多自然地域と都市住民の交流促進等による地域の活性化、ひいては地域創生を目指す。						
概要	イベントの企画立案、イベントブースの出展、運営等						
キーワード	①オープンキャンパス、②県イベントへの参加、③地元イベントへの参加						
関連する科目	体験研修 1、特別活動 2						
到達目標	○	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得					
	○	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得					
	○	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得					
評価方法	出席状況・取組態度 70～80%、報告書等提出状況 20～30% 15コマ1単位の履修を必須とするが、30コマ以上(44コマ以下)履修した者には2単位、45コマ以上履修し						

授業計画	テーマ	講義内容
1	オープンキャンパス	出展の意義、スタッフの役割
2	オープンキャンパス	オープンキャンパスでの展示物等の作成、準備
3	オープンキャンパス	会場設営、展示準備
4	オープンキャンパス	展示、プレゼンテーション、来場者との交流、撤収
5	木材フェア	会場設営、展示準備
6	木材フェア	展示、プレゼンテーション、来場者との交流、撤収
7	国見まつり	会場設営、展示準備
8	国見まつり	展示、プレゼンテーション、来場者との交流、撤収
9	棚田のあかり	会場設営、展示準備
10	棚田のあかり	展示、プレゼンテーション、来場者との交流、撤収
11	農林漁業祭	会場設営、展示準備
12	農林漁業祭	展示、プレゼンテーション、来場者との交流、撤収
13	農林漁業祭	会場設営、展示準備
14	農林漁業祭	展示、プレゼンテーション、来場者との交流、撤収
15	里山フェスタ	展示、プレゼンテーション、来場者との交流、撤収

テキスト	
参考書	
関連する資格	
備考	

科目番号	F B 2 0 3					
科目名	特別活動 2					
担当教員	皆川 芳嗣		所属等	県立森林大学校名誉校長		
	野谷 るり子			県立森林大学校		
科目区分	実習・訓練			人材養成の方針	即戦力	リーダー 地域貢献
対象学年	2年			授業形態	実習	
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	1
授業時間数	15 コマ			(30 単位時間)		
実務経験のある教員による授業科目			—	左の実務経験の内容 —		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無			—	左の実務経験の内容 —		
実務経験を活かした授業内容						

目的	さまざまな活動への参加を通じて、自己を活かす能力の向上をはかる。					
概要	講演の聴講、先進事例の視察、芸術・文化鑑賞、ボランティア活動への参加、学内外で開催される事例報告会などへの参加などを通じて、自己を活かす能力の向上をはかる。					
キーワード	①講演会、②先進事例視察、③芸術・文化鑑賞、④ボランティア活動、⑤事例報告会					
関連する科目	体験研修1・2、キャリアデザイン、特別活動1					
到達目標	<input type="radio"/>	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得				
	<input type="radio"/>	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得				
	<input type="radio"/>	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得				
評価方法	出席・取組状況 80%、報告書の提出状況 20%					

授業計画	テーマ	講義内容
1	自己を活かす能力の向上のための特別活動	先進事例の視察
2	自己を活かす能力の向上のための特別活動	講演の聴講
3	自己を活かす能力の向上のための特別活動	交流体験
4	自己を活かす能力の向上のための特別活動	交流体験
5	自己を活かす能力の向上のための特別活動	交流体験
6	自己を活かす能力の向上のための特別活動	交流体験
7	自己を活かす能力の向上のための特別活動	交流体験
8	自己を活かす能力の向上のための特別活動	森林林業技術センター森林林業技術センター研究発表会
9	自己を活かす能力の向上のための特別活動	森林林業技術センター森林林業技術センター研究発表会
10	自己を活かす能力の向上のための特別活動	交流発表会の聴講
11	自己を活かす能力の向上のための特別活動	交流発表会の聴講
12	自己を活かす能力の向上のための特別活動	林業講演会
13	自己を活かす能力の向上のための特別活動	林業講演会
14	自己を活かす能力の向上のための特別活動	林業講演会
15	自己を活かす能力の向上のための特別活動	林業講演会

テキスト	
参考書	
関連する資格	
備考	・講演会、視察研修等の詳細は学内掲示等により周知します

科目番号	F B 2 0 4						
科目名	海外（国内）研修						
担当教員	兼光 英喜			所属等	県立森林大学校森林教育専門員		
科目区分	実習・訓練			人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献
対象学年	2年			授業形態	実習		
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	3	
授業時間数	45			コマ	(90 単位時間)		
実務経験のある教員による授業科目				－	左の実務経験の内容	－	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無				－	左の実務経験の内容	－	
実務経験を活かした授業内容	国内におけるスマート林業、コンテナ苗、早生樹、一貫作業システム、CLT、バイオマス発電などの現地調査						

目的	国内におけるスマート林業、コンテナ苗、一貫作業システム、CLT、バイオマス発電、木材輸出、Iターン・Uターン、ローカルベンチャーなどの先進地・先進企業を現地調査するとともに、森林リクリエーションを体験のうえ、地域における林業・木材産業の推進方策について、幅広い視野を持って見通す力を養うとともに、発展に貢献するための見識を深める。						
概要	不安定な国際情勢のほか、円安に伴う旅行費用の高騰のため、オーストリア海外研修に替え、国内における先進地・先進企業などへの調査、調査先企業・職員とのディスカッションの結果をグループワークによりとりまとめ、学内で発表する。						
キーワード	自然、スマート林業、森林リクリエーション、木材流通、バイオマス発電、木材輸出						
関連する科目							
到達目標	－	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得					
	○	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得					
	○	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得					
評価方法	履修態度50%、発表50%						

授業計画	テーマ	講義内容
1	事前学習	国内研修地の事前学習
2－5	国内研修	岡山県真庭市のCLT・木材流通・バイオマス発電の視察
6	視察結果取りまとめ	視察結果取りまとめ
7－8	事前学習	国内研修地の事前学習
9－12	国内研修	岡山県西粟倉村のローカルベンチャー・Iターンの視察
13	視察結果取りまとめ	視察結果取りまとめ
14	視察結果取りまとめ	視察結果取りまとめ
15－16	事前学習	国内研修地の事前学習
17	事前学習	国内研修地の事前学習
18－21	国内研修	鹿児島県の自然遺産等の視察
22－25	国内研修	鹿児島県の森林リクリエーション体験
26－29	国内研修	鹿児島県の木材輸出の視察
30－33	国内研修	鹿児島県のCLT生産・コンテナ苗生産の視察
34－37	国内研修	鹿児島県のスマート林業の視察
38－41	視察結果取りまとめ	視察結果取りまとめ
42－45	報告	視察結果発表

テキスト	
参考書	
関連する資格	
備考	宿泊等を行う日程もあることから、宿泊費の準備、アルバイト等の日程調整に気をつけること。

科目番号	FB205						
科目名	キャリアデザイン						
担当教員	尾崎 真也			所属等	県立森林大学校森林教育専門員		
科目区分	実習・訓練			人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献
対象学年	2年			授業形態	実習		
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数	1	
授業時間数	15			コマ	(30 単位時間)		
実務経験のある教員による授業科目				—	左の実務経験の内容	—	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無				—	左の実務経験の内容	—	
実務経験を活かした授業内容							

目的	将来の職業やそこから始まる生き方や働き方を考える。		
概要	学外就業体験の準備を含め、就職を実現させるための行動計画や将来に向けたキャリアプランを作成する		
キーワード	①就職動向、②業界研究、③求人票・履歴書、④学外就業体験 ⑤行動計画 ⑥キャリアプラン ⑦自己分析		
関連する科目	基礎セミナー、特別活動1、特別活動2、学外就業体験 ほか		
到達目標	○	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得	
	○	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得	
	—	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得	
評価方法	取り組み態度70%、取り組み成果10%、出席20%		

授業計画	テーマ	講義内容
1	導入	キャリアデザインとは、卒業生就職動向、就活スケジュール、就職希望調査
2	履歴書・送付文書の書き方	履歴書・送付文書を作成してみる
3	自己分析	セールスポイントが書けるように自己分析を試みる
4	電話のかけ方・面接練習	電話のかけ方・面接練習
5	面接対策	面接対策
6	面接対策	面接対策
7	合同企業説明会	合同企業説明会への参加
8	合同企業説明会	合同企業説明会への参加
9	合同企業説明会	合同企業説明会への参加
10	合同企業説明会	合同企業説明会への参加
11	合同企業説明会	合同企業説明会への参加
12	合同企業説明会	合同企業説明会への参加
13	学外就業体験ガイダンスと準備	学外就業体験ガイダンスと準備
14	学外就業体験ガイダンスと準備	学外就業体験ガイダンスと準備
15	学外就業体験ガイダンスと準備	学外就業体験ガイダンスと準備

テキスト	
参考書	自己分析シート
関連する資格	
備考	

科目番号	F B 2 0 6				
科目名	学外就業体験				
担当教員	尾崎 真也	所属等	県立森林大学校森林教育専門員		
科目区分	実習・訓練		人材養成の方針	即戦力	リーダー
対象学年	2年		授業形態	実習	
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数
授業時間数	90		コマ	(180 単位時間)	
実務経験のある教員による授業科目	-		左の実務経験の内容	-	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	○		左の実務経験の内容	事業体等の指導者	
実務経験を活かした授業内容	事業体等における学外就業体験（インターンシップ）				

目的	森林・林業の担い手として相応しい人材を育成するため、大学校での授業の成果を踏まえ、より実践的な能力の育成と実社会への適応力向上を図る。	
概要	森林林業又は木材作業に関する企業等において、原則として1回あたり5日間の就業体験を3回実施する。なお、全体日程を通して99時間以上実施すること。	
キーワード	①学外就業体験、②成果発表	
関連する科目	インターンシップ、キャリアデザイン	
到達目標	<input type="radio"/>	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得
	<input type="radio"/>	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得
	<input type="radio"/>	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得
評価方法	体験時間20%、提出物（研修計画、保険証券写し、誓約書写し等）30%、日報・研修報告書30%、発表15%、研修先評価10% 計105%	

授業計画	テーマ	講義内容
1～2	事前準備	事前準備
3	事前準備	事前準備
4～7	学外就業体験（第1回）	森林、林業、木材関係事業体におけるインターンシップ（5日間）
8～11	学外就業体験（第1回）	森林、林業、木材関係事業体におけるインターンシップ（5日間）
12～15	学外就業体験（第1回）	森林、林業、木材関係事業体におけるインターンシップ（5日間）
16～19	学外就業体験（第1回）	森林、林業、木材関係事業体におけるインターンシップ（5日間）
20～23	学外就業体験（第1回）	森林、林業、木材関係事業体におけるインターンシップ（5日間）
24～27	学外就業体験（第1回）	森林、林業、木材関係事業体におけるインターンシップ（5日間）
28	事前準備	事前準備、前回とりまとめ
29～32	学外就業体験（第2回）	森林、林業、木材関係事業体におけるインターンシップ（5日間）
33～36	学外就業体験（第2回）	森林、林業、木材関係事業体におけるインターンシップ（5日間）
37～40	学外就業体験（第2回）	森林、林業、木材関係事業体におけるインターンシップ（5日間）
41～44	学外就業体験（第2回）	森林、林業、木材関係事業体におけるインターンシップ（5日間）
45～48	学外就業体験（第2回）	森林、林業、木材関係事業体におけるインターンシップ（5日間）
49～52	学外就業体験（第2回）	森林、林業、木材関係事業体におけるインターンシップ（5日間）
53～54	学外就業体験（第2回）	森林、林業、木材関係事業体におけるインターンシップ（5日間）
55	事前準備	事前準備、前回とりまとめ
56～59	学外就業体験（第3回）	森林、林業、木材関係事業体におけるインターンシップ（5日間）
60～63	学外就業体験（第3回）	森林、林業、木材関係事業体におけるインターンシップ（5日間）
64～67	学外就業体験（第3回）	森林、林業、木材関係事業体におけるインターンシップ（5日間）
68～71	学外就業体験（第3回）	森林、林業、木材関係事業体におけるインターンシップ（5日間）
72～75	学外就業体験（第3回）	森林、林業、木材関係事業体におけるインターンシップ（5日間）
76～79	学外就業体験（第3回）	森林、林業、木材関係事業体におけるインターンシップ（5日間）
80	とりまとめ	とりまとめ
81～84	とりまとめ	とりまとめ
85～86	とりまとめ	とりまとめ
87～88	とりまとめ	とりまとめ
89～90	成果発表	成果発表

テキスト	
参考書	
関連する資格	
備考	体験時間は22コマ（1日目4コマ+2～5日目4.5コマ）×3回=66コマ×1.5=99h以上とする。 事前準備のうち、企業との打ち合わせは他の授業時間の場合には公欠扱いとする。

科目番号	FB207				
科目名	卒業研究				
担当教員	岩成 麻子	所属等	県立森林大学校長主任森林教育専門員		
科目区分	実習・訓練		人材養成の方針	即戦力	リーダー
対象学年	2年		授業形態	実習	
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数
授業時間数	60		コマ	(120 単位時間)	
実務経験のある教員による授業科目	-		左の実務経験の内容	-	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	-		左の実務経験の内容	-	
実務経験を活かした授業内容					

目的	講義や実習等で学び得た知識や技能の集大成として、2年間で学習した事柄に関連した研究を行い、森林林業に対する高度な探究を行う技能を養成する。
概要	前半は研究を行う上での基礎スキルを習得するためのゼミを実施するほか、授業の深掘りや興味ある領域で調査研究に取り組む。後半は、卒業研究論文として各自が設定した課題についての調査、研究、とりまとめを行い、研究成果を発表する。
キーワード	①ゼミ、②卒業研究論文、③調査、研究、とりまとめ、報告
関連する科目	基礎セミナー、体験研修1、キャリアデザイン、特別講座2
到達目標	<input type="radio"/> 森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得 <input type="radio"/> 森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得 <input type="radio"/> 多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得
評価方法	出席10%、態度10%、提出物10%、発表審査20%、卒業論文審査50%

授業計画	テーマ	講義内容
1	研究課題の設定と研究手法の習得	研究テーマを設定し、文献検索、論文の書き方を学習する。
2	研究課題の設定と研究手法の習得	調査を行いながら、試験設計、調査の途中経過についてゼミを行い研究手法の技術定着を図る。
3～4	卒業研究	各自が設定した研究課題について調査研究を行う。
5～6	卒業研究	各自が設定した研究課題について調査研究を行う。
7	卒業研究	各自が設定した研究課題について調査研究を行う。
8～9	卒業研究	各自が設定した研究課題について調査研究を行う。
10～11	卒業研究	各自が設定した研究課題について調査研究を行う。
12～13	卒業研究	各自が設定した研究課題について調査研究を行う。
14～15	卒業研究	各自が設定した研究課題について調査研究を行う。
16～17	卒業研究	各自が設定した研究課題について調査研究を行う。
18～19	卒業研究	各自が設定した研究課題について調査研究を行う。
20～21	卒業研究	各自が設定した研究課題について調査研究を行う。
22～23	卒業研究	各自が設定した研究課題について調査研究を行う。
24～25	卒業研究	各自が設定した研究課題について調査研究を行う。
26～27	卒業研究	各自が設定した研究課題について調査研究を行う。
28～29	卒業研究	各自が設定した研究課題について調査研究を行う。
30	卒業研究	各自が設定した研究課題について調査研究を行う。
31	卒業研究	各自が設定した研究課題について調査研究を行う。
32～33	卒業研究	各自が設定した研究課題について調査研究を行う。
34～35	卒業研究	各自が設定した研究課題について調査研究を行う。
36	卒業研究	各自が設定した研究課題について調査研究を行う。
37	卒業研究	各自が設定した研究課題について調査研究を行う。
38～39	卒業研究	各自が設定した研究課題について調査研究を行う。
40～41	卒業研究	各自が設定した研究課題について調査研究を行う。
42～43	卒業研究	各自が設定した研究課題について調査研究を行う。
44～45	卒業研究	各自が設定した研究課題について調査研究を行う。
46～49	発表	研究成果の発表
50～51	とりまとめ	とりまとめ
52～53	とりまとめ	とりまとめ
54～55	とりまとめ	とりまとめ
56～60	とりまとめ、提出	提出

テキスト	
参考書	
関連する資格	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・60コマのうち2/3は出席すること。 ・大学校外での情報収集、取材、インタビュー等を出席として認める。その際は別途指示する外部調査計画書を提出し、卒業研究論文に内容を反映させること。